

みんきょう便り 第28号

「みんきょう」とは、民生児童委員協議会の略です

3密を避けて定例会を開催しています

三島町民生児童委員協議会では毎月1回定例会を開催しています。定例会では、自主研修や地域で求められている事や各委員の活動の工夫などを話し合い、それぞれの活動に活かしています。



5月度定例会：町民センター大ホールで開催

新型コロナウイルス感染拡大が不安視されている中で、訪問活動や定例会の開催を控えざるを得ない地域がある中、高齢者が多い三島町では、民生児童委員の訪問や安否確認の活動は欠かせないとのことで、定例会や訪問活動を継続して行っています。

話し合いの中では、様々な集会が自粛となり、隣近所のお茶飲みもままならない一人暮らし高齢者への配慮が呼びかけられたり、留守時には必ず畑を見に行ったり、時間を空けてテレビ電話で確認をしたり、メモを残してくる等の工夫が聞かれました。また、コロナウイルス感染症だけでなく、季節に応じて、熱中症予防についても注意喚起が必要だとの意見もあり、夏場の訪問時には熱中症予防の飴を持参することも提案され、実践しました。

これからも、地域の皆さんの声を聴きながら、地域の為に活動して参りますので、宜しくお願いいたします。

→ 熱中症予防啓発飴を配りました。



主任児童委員コラム



目黒政寿
(宮下地区)

連日、新聞紙上に「熱中症で病院に〇〇人搬送」という記事が目につくようになりました。

私が小学校のころ(50年前)は、夏休みの宿題に「絵日記」があり、文章や絵を描くことが苦手だったため「今日は、せみとりをしました」「今日は、トンボとりをしました」を交互に書いていました。そのほかに「天気・気温」を記入する欄があり、休み期間中で気温が30℃になるのは4、5日位だったと記憶しています。外で遊んでいると夕方には雷が鳴り(夕立)、雨に打たれながら帰ったり、神社などに避難したこともありました。今では、異常気象のせいか、30℃越えはめずらしくない状況で、夕立もほとんどなくなりました。

これから益々暑い季節になります。ウォーキングや畑仕事は無理をせずに水分を採りながら自分に合ったペースで行ってください。また、新聞の報道では、熱中症で搬送される原因のトップは自宅内での発症だそうですので自宅でお休みの時間も油断されないように。

隣り近所と『密に接触し』お互いに安否確認をしたいものです。



令和元(平成31)年度 三島町民生児童委員協議会 事業報告

①定例会 原則毎月第1木曜日開催

活動報告・協議事項・地区内の課題及び
ケース検討・今後の予定など

【自主研修】

6月「三島町緊急通報システムについて」
10月「町の防災への取り組みについて」
11月「各種資料の点検、整備・整理、
引継ぎ関係書類等の準備」

【小グループ意見交換会】

5月「アンケート結果(H30年秋実施)を
踏まえた意見交換会」
8月「地域支え合い推進事業と
民生児童委員の関わり」
2月「令和元(平成31)年事業・活動の反省と
令和2年度事業計画策定に向けて」

②役員会 年5回(4月・7月・12月・2月)

③広報委員会 年3回(6月・11月・2月)

④研修

5月 福島県民協市町村民児協会長研修会(福島市)
6月 民生児童委員相談援助研修会(会津若松市)
三島町民児協視察研修(静岡県)
7月 会津地方民生児童委員研修会(猪苗代町)
8月 中堅民生児童委員研修会(会津若松市)
主任児童委員研修(郡山市)
9月 三島・金山・昭和民児協合同研修会(昭和村)
12月 新任民生児童委員研修(会津若松市)

⑤調査活動

- ・福祉票、緊急連絡カードの整備
- ・災害時要支援者カードの作成
- ・福祉マップの整備
- ・防火診断対象世帯(4月4件、11月2件)
- ・除雪援護費助成対象者調査
- ・歳末たすけあい援護世帯対象者調査
- ・冬期間留守世帯調査
- ・除雪時要注意世帯調査

⑥相談活動 心配ごと相談所の運営協力

⑦見守り・一斉訪問活動 年3回(5月・10月・2月)

⑧みんきょう便りの発行 年3回(7月・12月・3月)

⑨その他の活動

- ・地域ふれあいサロン開催支援、協力
- ・社会を明るくする運動への協力
- ・老人クラブ「大登長寿会」との交流会
- ・歳末たすけあい募金活動の協力
- ・福島県、会津民生児童委員協議会会議(評議員会)
- ・社会福祉協議会への事業協力
- ・町、学校、保育所事業への協力
- ・町老人クラブ連合会、町戦没者遺族会事業への協力
- ・保護司会への協力



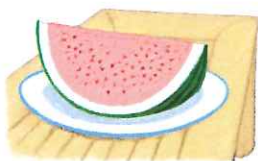
新任民生児童委員活動日誌「一斉訪問」

5月17日(日)、同じく宮下地区担当の湯田委員と二人で地区内を訪問しました。コロナの話や近況を聞きながら、皆さんの元気な様子が分かり安心しました。

毎日報道される新型コロナウイルスも心配ですが、日増しに暑さが強くなっており、熱中症も心配です。自分で作った野菜は美味しいと思います。畑に出るときは、涼しい時間に水分と梅干しなども持って行ってください。畑などの屋外ではマスクを外して休みながら転ばないように気を付けてくださいね。

まだまだ分からない事も多いですが、みなさんの気持ちに寄り添いながら頑張ります。何かあれば気兼ねなくご連絡ください。

宮下地区担当：栗城 ゆみ子



☆編集後記☆

梅雨空のもと、春先からのコロナ問題が収まらず、テレビでは毎日コロナ感染者の人数が放送され続けています。震災後、差別でイヤな思いをした福島県民だからこそ、今起きている事への差別は絶対にあってほしくないと思うこの頃です。

これからますます暑さが厳しくなり室内でも熱中症になるリスクが高くなります。また、今年は屋外でもマスクを付けている為、熱中症になりやすくなると思われます。

皆さんには睡眠と水分を十分に取り、この夏を乗り切ってほしいと思います。

〈桑原・中平・荒屋敷地区担当〉二瓶 とよ子

発行：三島町民生児童委員協議会
〈広報委員〉佐久間 絹江
二瓶 とよ子
湯田 恭子
事務局／三島町社会福祉協議会